



# Techno Smart

Changing Life with Coating Technology

**テクノスマート (6246)**

**2024年3月期  
第2四半期決算説明資料**



<https://www.technosmart.co.jp/>

# 2024年3月期第2四半期決算概要

利益率の高い案件が第2四半期に集中したことから、前期比で大幅増益

	23年3月期 Q2 実績	24年3月期 Q2 実績	対前年同期 増減率	24年3月期 通期計画	対計画 進捗率*
(百万円)					
受注高	10,440	7,017	△32.8%		
売上高	10,716	9,641	△10.0%	19,000	50.7%
営業利益	1,261	1,599	26.7%	2,400	66.6%
営業利益率	11.8%	16.6%			
経常利益	1,284	1,619	26.1%	2,430	66.6%
純利益	877	1,097	25.1%	1,660	66.1%
受注残高	24,187	24,178	0.0%		

## 2024年3月期 第2四半期 概況

- ✓ 大きな成長が見込まれる車載用リチウムイオン二次電池の電極用、セパレータ用、及び燃料電池用途工乾燥装置、液晶テレビやスマートフォン、タブレット端末用の光学フィルム、タッチパネル用途工乾燥装置、及び電子部品関連塗工乾燥装置の**受注強化**
- ✓ 受注高は、低調であった第1四半期期間から回復してきているが、第1四半期期間の落ち込みが影響し、前年比で減少
- ✓ **引き続き有望案件も多く、第3四半期以降に受注が見込まれると予想**

\*2023年10月27日発表の修正予想に対する進捗率



# Techno Smart

1

会社概要

2

2024年3月期第2四半期実績

3

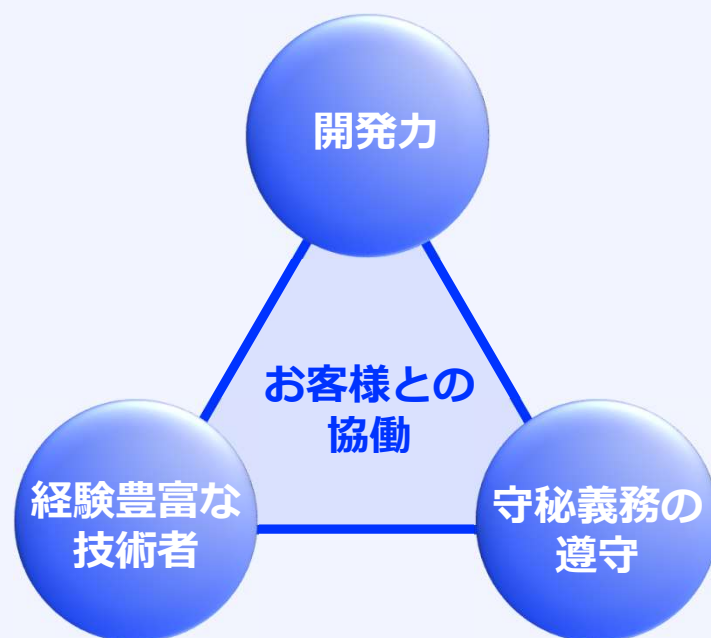
Appendix

# 会社概要

# Techno Smart

常にお客様を第一とし  
ベストソリューションを提供し続ける  
コーティング・乾燥技術のプロ集団

「こんな商品を！」の声に応える新商品開発サポート



豊富な経験と先端の知識を備え  
お客様のコミュニケーションを  
基点に動く技術者集団

万全なお客様機密情報の保護

会社名	株式会社テクノスマート (Techno Smart Corp.)
事業内容	製造業向け塗工・乾燥装置の製造・販売
創業	1912年6月15日
資本金	19億5,393万円
所在地	〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町2丁目5-28 久太郎町恒和ビル2階
従業員数	240名 (2023年9月末時点)
生産拠点	【滋賀事業所】滋賀県野洲市大篠原3200番地

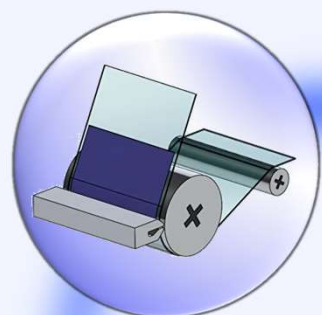
▼滋賀事業所



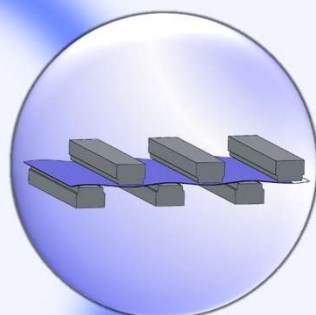
モノ作りにおける「塗る」「乾かす」「巻き出す・巻き取る」に対するベストソリューションの提供

塗工プロセスに必要な要素全てを自社製品でカバー

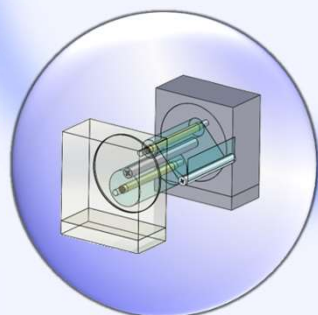
顧客のニーズに合わせた最適な生産ラインを提案・構築



塗る



乾かす

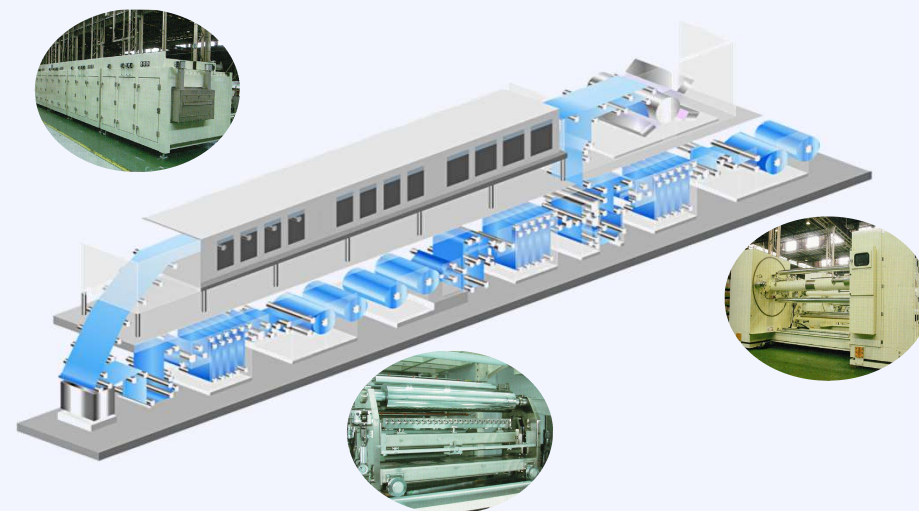


巻き出す・巻き取る

使用する材料

ラインの  
生産性

コーティング  
の精度



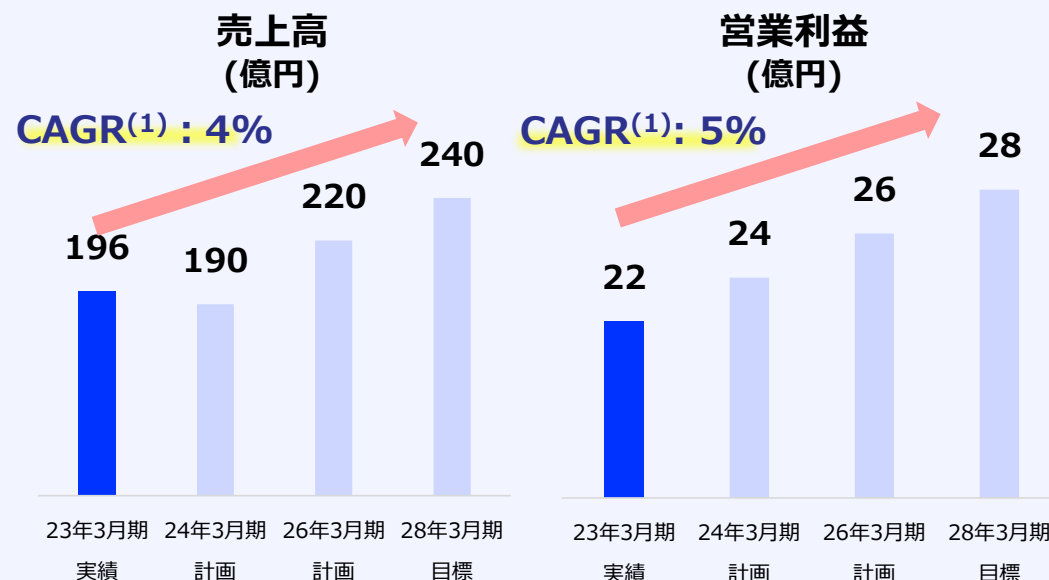
塗工プロセスで要求される様々な要素を  
最大限に満たす生産ラインを設計・構築



# 企業価値向上戦略 – 事業戦略及び数値目標

事業基盤の強化に取り組むと同時に、長期的な成長に向け二次電池市場に向けた展開を強化  
また、企業価値創出の重要指標としてROEを含めた目標数値を設定し、財務戦略の見直しを図る

目標	主要施策
① 車載用二次電池市場向けを中心に、エネルギー領域での成長を加速	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ Dürr社(独)との提携を通じた欧州展開強化</li> </ul>
② 納期の長期化の解消と技術力強化を通じた競争力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 設計者の採用強化</li> <li>✓ 生産・研究開発投資の拡大</li> </ul>
③ コロナ禍で停滞した海外戦略の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 海外訪問強化</li> <li>✓ 営業人材の採用強化</li> <li>✓ アフターサービス拡充</li> </ul>
④ 資本効率の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 財務戦略の見直しによるROEの改善</li> </ul>



(1) Compound Annual Growth Rate (年平均成長率)。23年3月期実績および28年3月期目標に基づく



# Techno Smart

1

会社概要

2

2024年3月期第2四半期実績

3

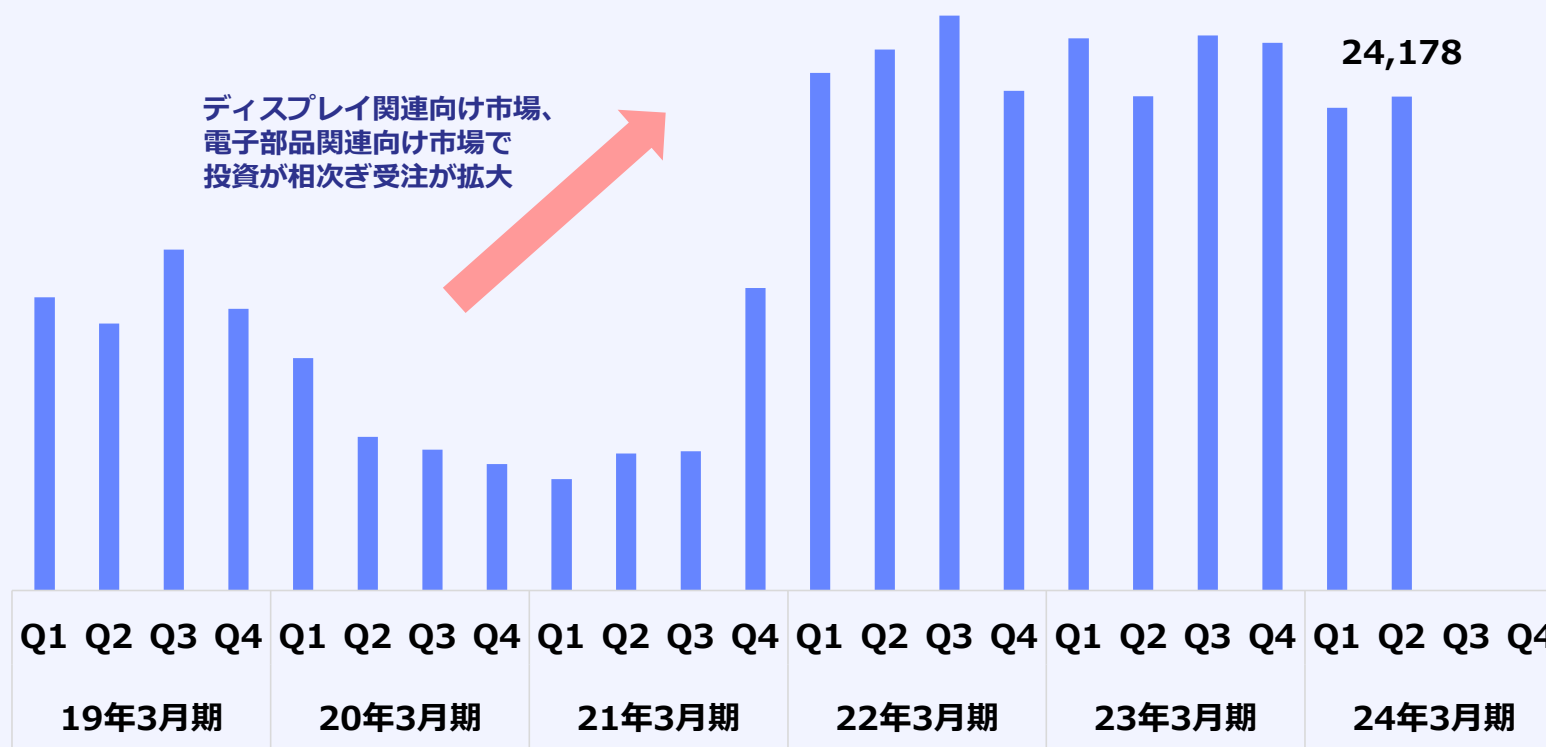
Appendix

## 現在の事業環境 – 全体

Techno Smart

半導体に絡む電気部品の長納期化については、回復傾向  
受注も回復してきており、受注残高は高水準で推移

受注残高  
(百万円)



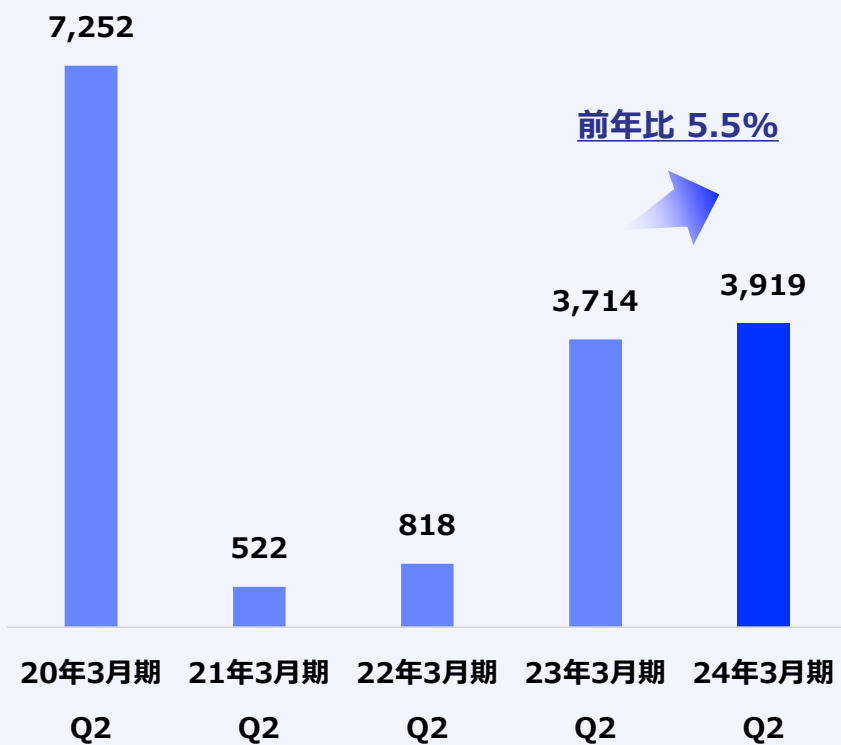


## 現在の事業環境 – ディ스플레이関連

Techno Smart

前期までに獲得した大型受注が売上に貢献し、前年同期比で増加

ディスプレイ部品関連機器売上高  
(百万円)



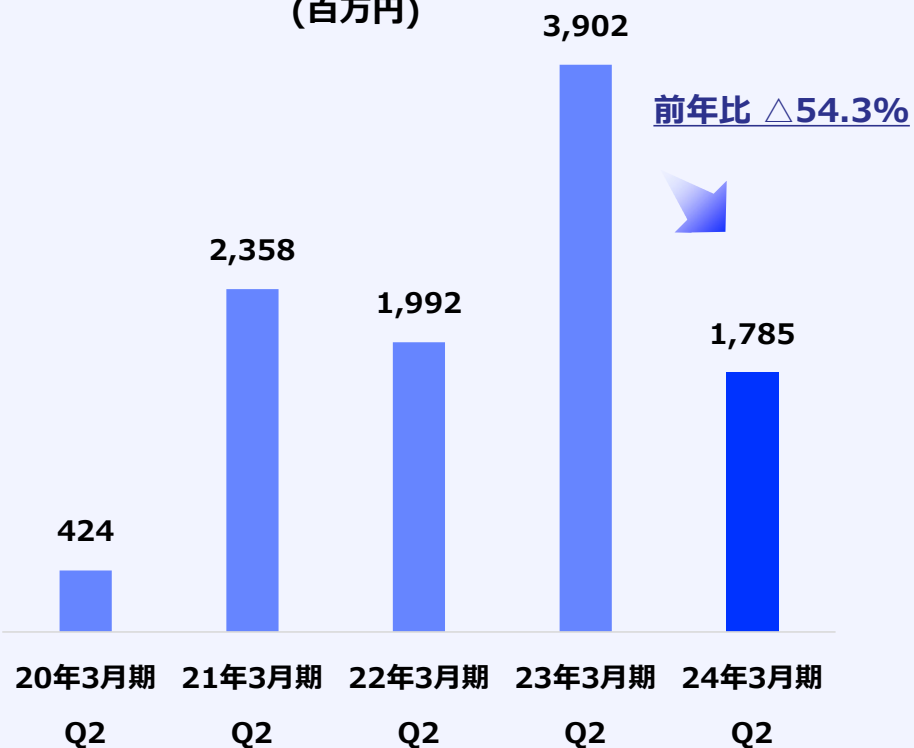
2024年3月期 見通し

- ✓ ディ스플레이に関する大型の継続投資の動きがあり、引き続き案件確保を目指す

# 現在の事業環境 – 機能性フィルム

前年同期は大型案件があったため、大きく減収

機能性フィルム部品関連機器売上高  
(百万円)

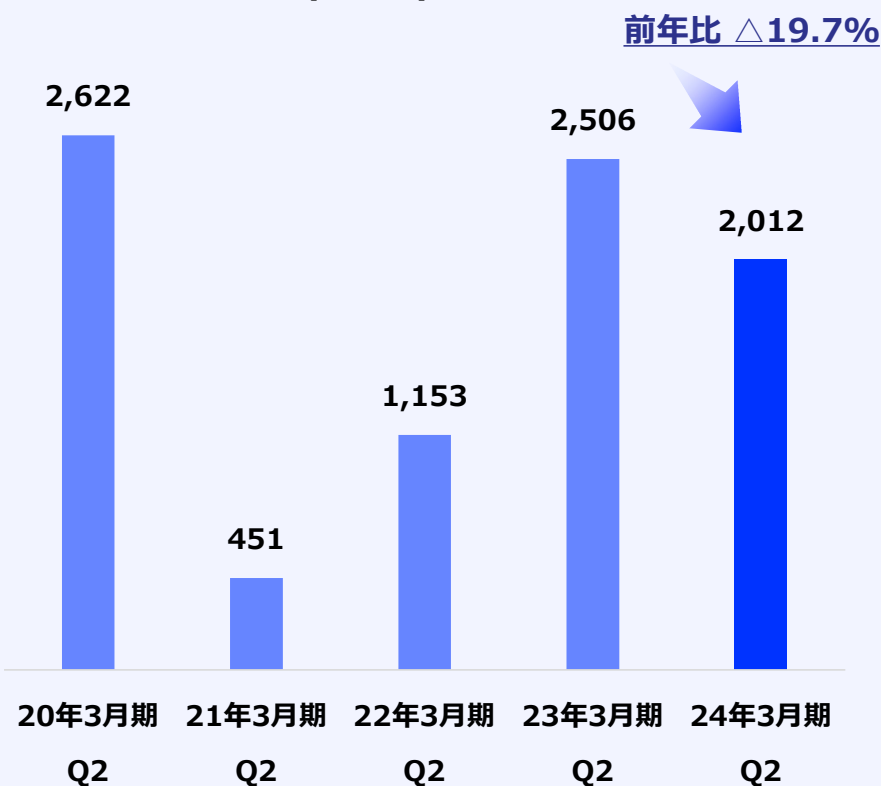


2024年3月期 見通し

- ✓ 前期までに獲得した受注が売上に貢献し始める見込み

車載用二次電池市場へは中期経営計画における成長軸として積極的な営業活動を継続、第2四半期には大型案件を獲得

エネルギー関連機器売上高  
(百万円)



## 2024年3月期 見通し

- ✓ 車載用二次電池用セパレータ用塗工乾燥装置の継続受注に取り組む
- ✓ 欧州市場で車載用二次電池用電極用塗工乾燥装置受注獲得に向けた営業活動の継続及びDürr社との技術交流の活発化
- ✓ **全固体電池に関する初期的投資**が見え始めており案件獲得に注力



## 2024年3月期第2四半期実績 営業利益の増減

減収の影響はあったものの、利益率の高い案件が第2四半期に集中したこと、原価低減施策と経費減が奏功し、15.99億円の営業利益を実現

(百万円)



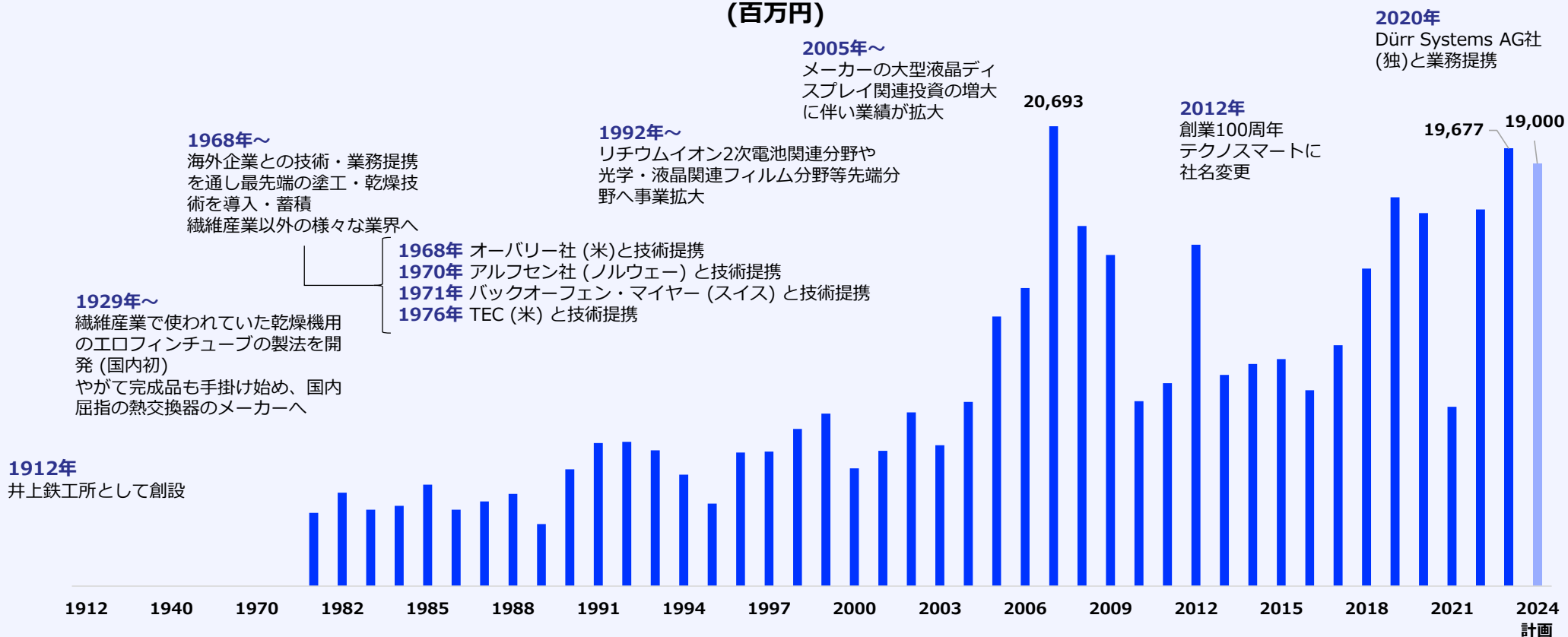


**Techno Smart**

## **Appendix**

1912年に創業。繊維産業向け乾燥機のエロフィンチューブの開発以来、様々な業界の塗工・乾燥のプロセスに関するソリューションを手掛ける

## 売上高の推移 (百万円)





現在はディスプレイ、機能性フィルム関連、電子部品関連、エネルギー関連で9割超を占める

## ① ディスプレイ部品関連機器

液晶用表示装置に代表される光学用途フィルム塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置



**顧客製品：**  
偏光フィルム、ARフィルム 等

**関連製品・最終製品：**  
液晶テレビ、スマートフォン 等

## ② 機能性フィルム関連塗工機器

一般産業資材用のフィルム用途塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置

**顧客製品：**  
離形フィルム等

**関連製品・最終製品：**  
MLCC、電子機器 等

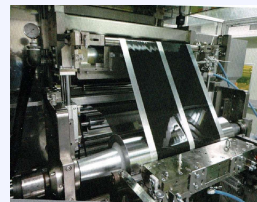


## ③ エネルギー関連

二次電池塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置  
また、塗工機以外の二次電池用製造装置及び関連機器

**顧客製品：**  
LiB、太陽電池 等

**関連製品・最終製品：**  
スマートフォン、EV 等



## ④ 電子部品関連塗工機器

半導体、FPC等電子部品関連用途塗工装置  
及び関連する乾燥・熱処理装置



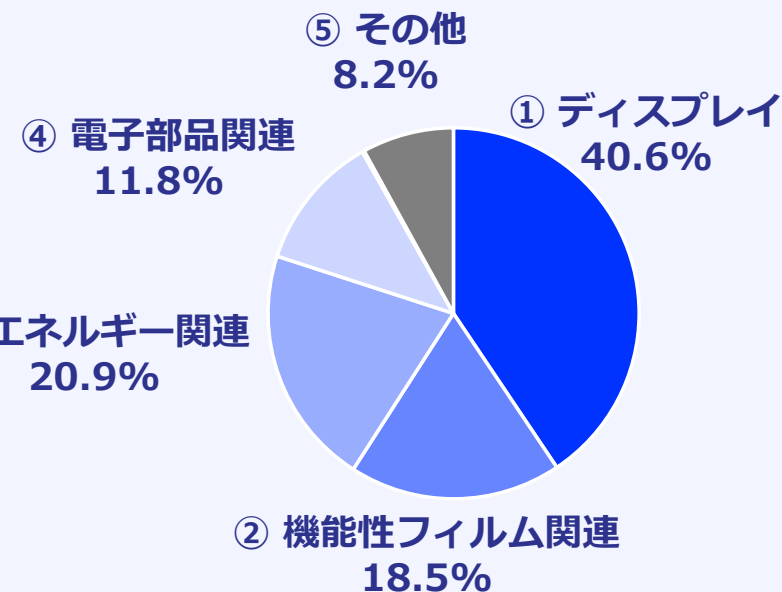
**顧客製品：**  
FPC 等

**関連製品・最終製品：**  
スマートフォン 等

## ⑤ その他

各種関連機器の部品製造・改造・修理

製品セグメント別売上高構成比  
(2024年3月期2Qベース)



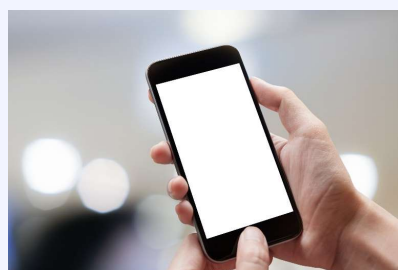
# テクノスマートの機械で作られる最終製品

Techno Smart

生活に欠かせない様々なものの製造で塗工プロセスが必要とされている



液晶テレビ



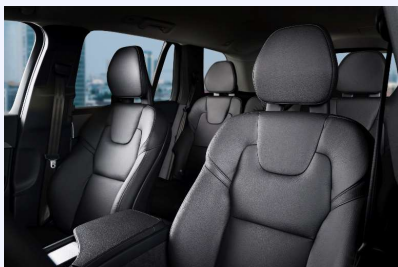
スマートフォン



太陽電池



不織布 (おむつ)



レザーシート



エアバッグ



車載用リチウムイオン電池



粘着テープ



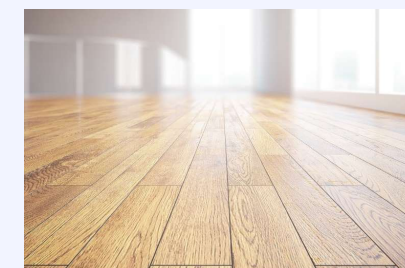
フレキシブルプリント基板



医療用経皮吸収パッチ



修正テープ



フローリング風床材

顧客第一の姿勢のもと、お客様の求める要素を全て実現し、技術に支えられた高品質なソリューションと永続的なアフターフォローを通して高い顧客満足を実現

## ヒアリング・営業



お客様とのコミュニケーションを通じて課題を発見。新商品開発や提案に繋げる

## 企画・設計



引き合いを頂いたお客様との打合せに基づいて下調べを行い、図面・仕様書を作成

## 製造・据付



お客様の工場で実際に製造ラインを据付し、試運転を重ねて求められている水準を実現

## アフターフォロー



納品後も永続的なアフターフォローに取り組み、更なる顧客満足度の充実に努める

## 一般的なリードタイム



1~3か月/回程度の  
見積もりを繰り返し  
お客様の求める設計に

1年~1年半

永続的なフォロー



# 損益計算書 (通期/四半期累計)

Techno Smart

(百万円)	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期2Q
受注高	7,967	7,961	16,067	18,553	18,666	9,179	16,771	26,603	22,017	7,017
受注残高	3,959	3,113	8,343	12,611	13,785	6,180	14,799	24,463	26,803	24,178
売上高	10,211	8,807	10,837	14,285	17,492	16,785	8,089	16,939	19,677	9,641
売上原価	9,155	7,879	9,116	12,215	14,271	12,632	6,663	14,472	16,502	7,576
売上総利益	1,056	927	1,721	2,070	3,220	4,153	1,425	2,466	3,174	2,065
売上総利益率	10.3%	10.5%	15.9%	14.5%	18.4%	24.7%	17.6%	14.6%	16.1%	21.4%
販売費及び一般管理費	597	615	713	807	872	1,049	585	823	941	466
営業利益	458	311	1,008	1,262	2,347	3,103	840	1,642	2,232	1,599
営業利益率	4.5%	3.5%	9.3%	8.8%	13.4%	18.5%	10.4%	9.7%	11.3%	16.6%
営業外収益	70	44	45	44	45	46	80	60	56	32
営業外費用	12	12	21	25	12	7	6	11	11	12
経常利益	516	343	1,032	1,281	2,380	3,142	914	1,692	2,277	1,619
特別利益	-	9	-	-	-	-	26	-	-	-
特別損失	-	7	5	10	15	165	20	7	2	-
税引前当期 (四半期) 純利益	516	345	1,027	1,271	2,364	2,976	919	1,685	2,275	1,619
法人税等	213	135	335	380	738	942	340	521	668	522
当期純利益	303	209	692	890	1,626	2,033	579	1,164	1,607	1,097

# 損益計算書 (四半期)

Techno Smart

(百万円)	22年3月期				23年3月期				24年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
受注高	12,243	4,999	6,547	2,813	7,949	2,490	8,383	3,195	1,084	5,932
受注残高	25,344	26,480	28,143	24,464	27,031	24,187	27,176	26,803	23,630	24,178
売上高	1,699	3,863	4,885	6,492	5,382	5,334	5,395	3,566	4,257	5,384
売上原価	1,557	3,330	4,233	5,353	4,640	4,401	4,246	3,215	3,579	3,996
売上総利益	141	534	653	1,139	741	935	1,148	350	678	1,387
売上総利益率	8.3%	13.8%	13.4%	17.5%	13.8%	17.5%	21.3%	9.8%	15.9%	25.8%
販売費及び一般管理費	144	266	154	260	200	214	193	334	233	232
営業利益	△3	268	499	879	541	721	955	15	444	1,154
営業利益率	△0.2%	6.9%	10.2%	13.5%	10.1%	13.5%	17.7%	0.4%	10.4%	21.4%
経常利益	28	269	513	882	566	719	973	19	461	1,158
税引前当期純利益	27	267	513	878	566	719	973	17	461	1,158
当期純利益	15	182	351	616	385	492	666	64	312	785

# 損益計算書 (四半期)

Techno Smart

(百万円)	22年3月期				23年3月期				24年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	1,699	3,863	4,885	6,492	5,382	5,334	5,395	3,566	4,257	5,384
ディスプレイ関連	439	379	1,055	3,354	1,548	2,166	2,776	974	1,433	2,485
機能性フィルム関連	411	1,581	2,554	2,144	2,362	1,540	598	757	1,093	692
エネルギー関連	141	1,012	753	659	1,253	1,253	1,225	805	928	1,084
その他	708	891	523	335	219	375	796	1,030	803	1,121
売上原価	1,557	3,330	4,233	5,353	4,640	4,401	4,246	3,215	3,579	3,996
売上総利益	141	534	653	1,139	741	935	1,148	350	678	1,387
売上総利益率	8.3%	13.8%	13.4%	17.5%	13.8%	17.5%	21.3%	9.8%	15.9%	25.8%
販売費及び一般管理費	144	266	154	260	200	214	193	334	233	232
営業利益	△3	268	499	879	541	721	955	15	444	1,154
営業利益率	△0.2%	6.9%	10.2%	13.5%	10.1%	13.5%	17.7%	0.4%	10.4%	21.4%

# 貸借対照表 (通期/四半期)

Techno Smart

(百万円)	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期2Q
<b>総資産</b>	<b>15,388</b>	<b>15,830</b>	<b>18,364</b>	<b>19,391</b>	<b>24,435</b>	<b>22,926</b>	<b>22,138</b>	<b>29,316</b>	<b>27,909</b>	<b>28,766</b>
<b>流動資産</b>	<b>11,073</b>	<b>11,707</b>	<b>13,933</b>	<b>14,840</b>	<b>19,863</b>	<b>17,711</b>	<b>16,608</b>	<b>23,204</b>	<b>21,621</b>	<b>22,292</b>
現金及び預金	2,269	5,305	5,606	5,493	6,076	6,188	10,461	10,638	9,583	11,131
売上債権	8,585	5,954	7,862	9,081	13,119	10,952	5,595	11,078	11,381	10,385
棚卸資産	122	268	265	234	252	282	185	552	535	572
<b>固定資産</b>	<b>4,314</b>	<b>4,123</b>	<b>4,430</b>	<b>4,551</b>	<b>4,572</b>	<b>5,214</b>	<b>5,529</b>	<b>6,111</b>	<b>6,287</b>	<b>6,474</b>
有形固定資産	2,976	2,940	3,072	2,977	3,044	3,673	3,925	4,508	4,447	4,416
<b>総負債</b>	<b>5,167</b>	<b>5,666</b>	<b>7,440</b>	<b>6,558</b>	<b>9,461</b>	<b>6,497</b>	<b>5,391</b>	<b>11,910</b>	<b>9,331</b>	<b>9,538</b>
<b>流動負債</b>	<b>3,984</b>	<b>4,214</b>	<b>5,971</b>	<b>5,205</b>	<b>8,178</b>	<b>5,225</b>	<b>4,090</b>	<b>10,563</b>	<b>7,923</b>	<b>8,085</b>
仕入債務	2,872	3,188	4,218	3,526	6,184	3,113	2,325	8,060	5,008	5,685
前受金	169	44	639	676	758	744	1,398	1,597	1,729	1,357
固定負債	1,182	1,451	1,468	1,352	1,283	1,272	1,300	1,347	1,407	1,453
<b>純資産</b>	<b>10,220</b>	<b>10,164</b>	<b>10,923</b>	<b>12,832</b>	<b>14,974</b>	<b>16,428</b>	<b>16,747</b>	<b>17,405</b>	<b>18,577</b>	<b>19,227</b>
株主資本	8,805	8,877	9,432	11,230	13,502	15,003	15,151	15,879	16,945	17,366
評価・換算差額等	1,415	1,287	1,491	1,594	1,471	1,424	1,596	1,525	1,631	1,860
有利子負債	752	1,016	841	547	194	82	2	-	-	-
自己資本比率	66.4%	64.2%	59.5%	66.1%	61.3%	71.7%	75.6%	59.4%	66.6%	66.8%
1株あたり純資産	964.6円	959.4円	1,031.0円	1,118.6円	1,208.1円	1,325.4円	1,351.1円	1,415.7円	1,511.0円	1,563.9円



# キャッシュ・フロー計算書

Techno Smart

(百万円)	20年3月期 2Q	21年3月期 2Q	22年3月期 2Q	23年3月期 2Q	24年3月期 2Q
営業活動による キャッシュ・フロー	5,440	4,643	△13	3,355	2,404
投資活動による キャッシュ・フロー	△445	△14	△392	△25	△181
財務活動による キャッシュ・フロー	△370	△445	△176	△305	△673
現金及び現金同等物 の増減額	4,625	4,183	△582	3,024	1,548
現金及び現金同等物 の期首残高	5,976	6,088	10,361	10,538	9,483
現金及び現金同等物 の四半期末残高	10,602	10,272	9,778	13,563	11,031
(ご参考) フリー・キャッシュ・フロー	4,995	4,629	△405	3,330	2,222

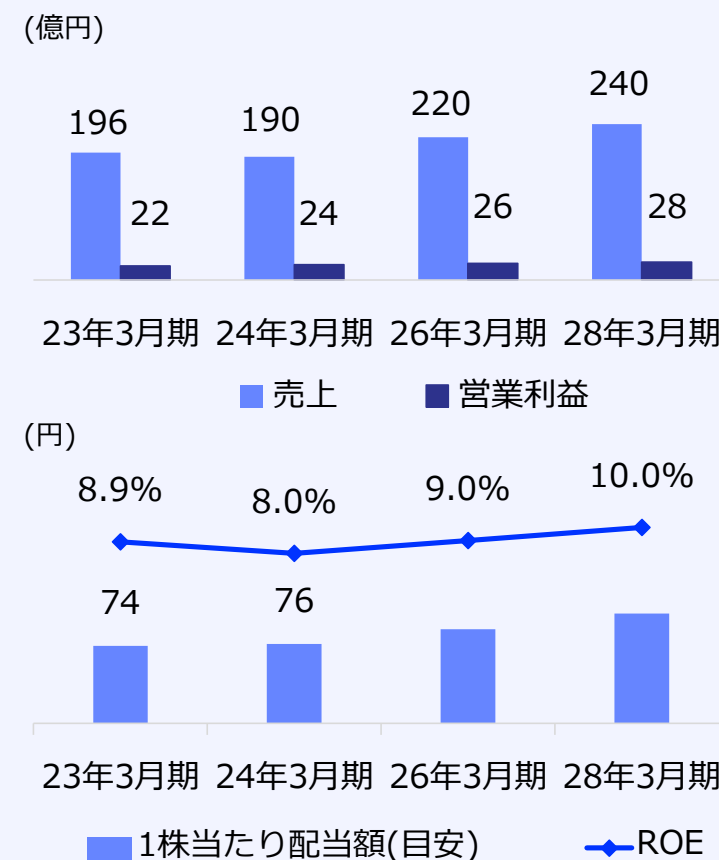
フリー・キャッシュ・フロー・・・営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

# 数値目標総括

Techno Smart

今中期経営計画における各数値目標は以下の通り

	23年3月期 実績	24年3月期 計画	25年3月期 計画	26年3月期 計画	28年3月期 目標
売上高	196億円	190億円	210億円	220億円	240億円
営業利益	22億円	24億円	25億円	26億円	28億円
ROE	8.9%	8%以上	8.5%以上	9%以上	10%以上
DOE	5.1%	5%以上			
配当額 (目安)	74円	76円	75円から105円程度		

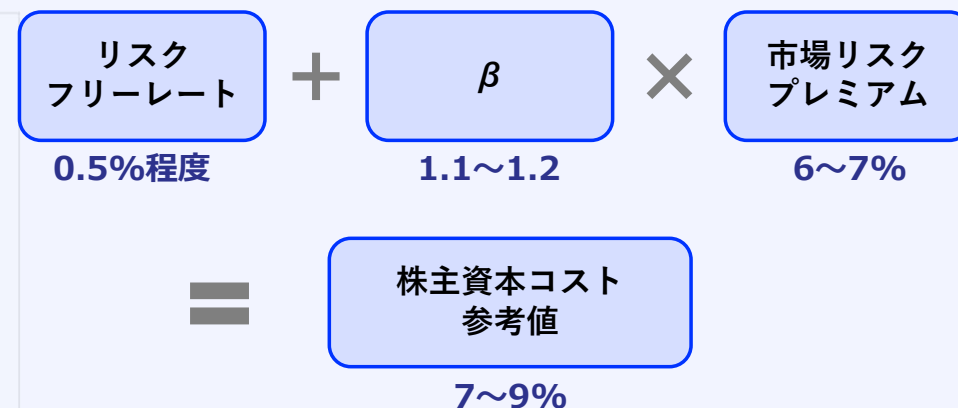


第3次中期経営計画発表後、PBRは1倍を上回る推移  
 一定の評価と期待を頂いているものと捉え、引き続き企業価値の向上及び最大化に取り組む

2019年3月来PBR推移（倍）



当社の株主資本コスト(参考値)の前提について



- ✓ 客観的な資本コストの参考値の一つとしてCAPMを使用
- ✓ リスクフリーレートは国内の長期金利を使用
- ✓ β値については当社の2年週次βや同業種β<sup>(1)</sup>を使用

注：月次のPBR = 月の最終営業日の株価終値 / 1株あたり純資産（直前の本決算期末）

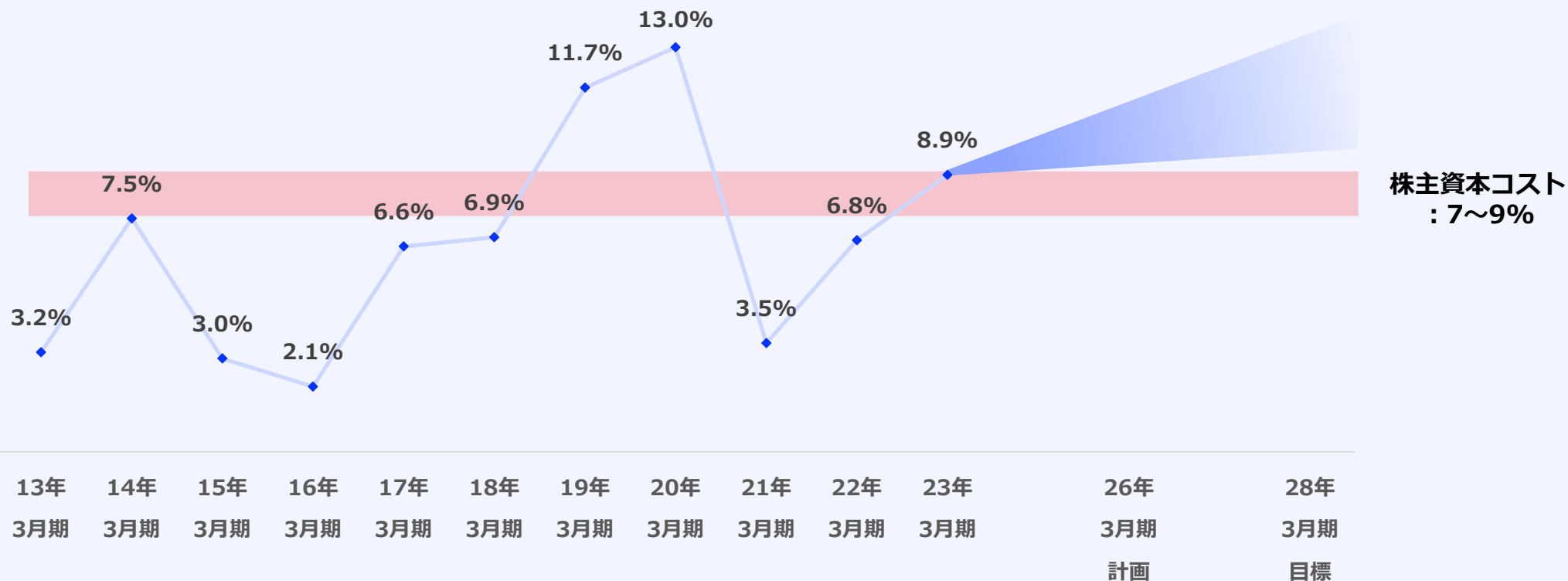
注：(1) 日経NEEDS等を基準に算出

# 企業価値向上のための目標ROE

現在のROE水準は市場の求める株主資本コストを十分に上回ることは出来ていないという認識  
引き続き収益性の向上とバランスシートの効率化を通し、株主資本コストを十分に上回るROEの実現を目指す

持続的に株主資本コストを上回るROE水準を目指す

目標ROEと株主資本コスト





# ESG

当社の事業領域、特に中期経営計画で志向している領域はESGのそれぞれとも関係が深いと認識  
これまで以上に環境負荷や所属社会との連携、ガバナンス・資本効率の強化に向けて取り組む計画

## 環境 Environment

CO2排出量を筆頭とする  
環境負荷の低減への寄与

- ① 次世代エネルギー・次世代自動車の発展への寄与
- ② 新実験棟での太陽光発電の設置計画等、事業活動におけるCO2排出量の削減
- ③ 環境負荷の低い塗工・乾燥装置の研究・開発

## 社会 Social

地域社会との共生と  
持続可能な発展

- ① コロナ禍で一時中止していたインターンシップの受入再開に向けた取り組み
- ② 事業活動を行っている地域における環境負荷に関する報告や行事取組

## ガバナンス Governance

社会の公器として求められる  
コーポレートガバナンスの実現

- ① 全てのステークホルダーに対して報いるための、資本効率を意識した経営の徹底
- ② 実効性の高い取締役会組成と経営の透明性・効率性の向上
- ③ 業績連動型報酬制度の導入





# Techno Smart

Changing Life with Coating Technology

## 免責事項

### 将来予測について

本資料で提供されている情報には、将来の見通しに関する情報が含まれています。これら歴史的事実以外の情報は、当社が属する業界の競争、市場、諸制度に係るリスクや不確実性による影響を受ける可能性があります。その結果、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および推測に基づく見込みは、将来における実際の成果および業績とは異なる場合があり得ることをご承知おきください。

## お問い合わせ先等

本資料の内容に関するお問い合わせにつきましては、下記までお願い申し上げます。

管理統括部 経営企画・IR推進部  
TEL 06-6253-7200（代表）